

NEWS 通報に同時通訳！ - 西日本防災システム

2014 06 06

居住する外国人や外国人観光客からの通報などを迅速かつ正確に把握するため、神戸市消防局は6月から、119番通報や災害現場でのやり取りに5カ国語の同時通訳を導入する予定です。電話で通訳会社を介し、24時間態勢で意思疎通できるようになります。兵庫県内の消防では初めての取り組みとなります。

対応言語は、英語、中国語、韓国語・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語で、通訳サービス会社ブリックスに委託されるようです。119番を受けた職員が、同社に転送すると、担当者を加えた三者間で通話できるというもので、災害現場からは、職員が持参した携帯電話で担当者に取り次ぎ、外国人とのやり取りを後から聞き取る仕組みとなっています。

いままでの通報にたいしては、外国語が話せる職員が対応するなどしていましたが、不在の場合の態勢や確実性が大きな課題となっていました。昨年6月には、摩耶山に迷い込んだ台湾人観光客の通報で、居場所の特定に1時間以上を要してしまったようです。

神戸市の発表によりますと、2013年に神戸を訪れた外国人観光客は約551、100人で、2年前の約1.8倍にまで増加しています。119番通報と現場での対応で年間約50件余りの利用を想定しているようです。



西日本防災システム

NIISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 